



2017-2018 年度 RI 会長テーマ

RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2017-2018 年度 No.18

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125 FAX 0763-55-6147

h.tonamirc@gmail.com



ロータリー:
変化をもたらす

(イアン H.S.ライズラリー会長)

2017-2018 年度 会長 河合耕一、幹事 長谷川吉美

例 会 記 録

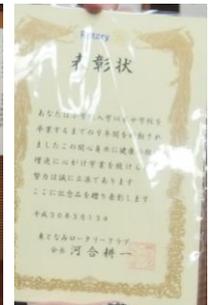
第 1892 回例会

平成 30 年 3 月 7 日(水) よいとこ井波

1. 開会点鐘：会長
2. 国歌「君が代」斉唱
3. ソング：奉仕の理想



4. 月結婚記念日：浅田会員（11日）畠中会員（11日：欠席）中島会員（18日）三谷会員（20日）坂井会員（24日）小西会員（29日）
5. 月誕生日：齋藤美華子会員（8日：欠席）松原会員（28日：欠席）太田会員（30日：欠席）



6. 会長の時間：この時期になりますと、中学校の卒業式です。7-8年前より、ライオンズクラブが無くなり、その事業を引き継ぐ形で、義務教育9ヶ年・木彫刻訓練校5ヶ年の精勤賞をロータリークラブとして授与しています。今年は、井波・庄川・利賀・平・上平の中学校で、9ヶ年で欠席0日が5名、3日以内が23名の28名、訓練校1名に表彰状をお渡しします。今年は、縦型横文字の形にしました。それから、本日「ロータリー活動に関するアンケート」を再度行います。本日帰りに回収します。28日のロータリーデーでアンケート集計を発表し、その結果の印象を語ってまいります。さらに、4月7日金沢で、ロータリーリーダーシップ研修会が開催されます。勉強して良い刺激をもらってきたいと思います。
7. 幹事報告：①（理事会報告）i 3月予定。ii 3/28「ロータリーデー」は夜間例会でなく、昼間の通常例会にします。40周年（H31.4.10内定）に向けての会合をします。小西実行委員長（予定）が準備委員長と

なり、河合会長、齋藤副会長、坂井会長エレクト、山本直前会長の5名で、組織作りなど準備に入ります。iii PETS 3/18 坂井エレクト出席。iv 精勤賞 3/13：庄川（齋藤副会長）井波（浅田会員）その他は送付。v 4/11 創立記念観桜家族例会「松風樓」親睦活動委員会（太田委員長）。vi その他、「良い歯の日キャンペーン」4/18 福野おひさま保育園 10：00～11：00・「南砺の山々を守る植樹祭」4/29（日）11：00～12：30 福光里山②帰りまで、アンケート回収します。③IMの御礼が高岡万葉RCから、来ています。④交通広場駐車場が4/1より有料（200円）になります。元井波第1保育園駐車場が便利になります。⑤近隣クラブの例会変更は、事務局に確認ください。

8. 委員会報告：①出席報告(中島委員長)22名中12名出席(出席率54.55%)

9. ニコニコBOX(SAA：本日7名)

河合会長：雪の急速に融けましたね。

小西会員：結婚祝感謝(45周年)！精進し金婚式目指します。

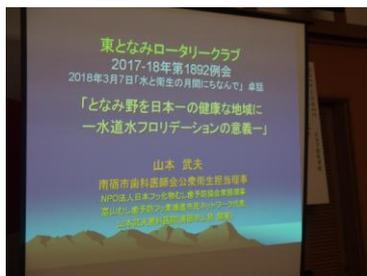
三谷会員：結婚祝に感謝。この頂いた力を大切にします。

坂井会員：結婚記念日思い出しました。感謝！

浅田会員：結婚祝感謝！早46年目、沢山役職辞退し、夫婦で余生を楽しみたいと思います。

中島会員：結婚祝感謝！46年目の記念日です。

山本武夫会員：入会以来初めて、2週連続卓話。事情あり変更とはいえ、皆様(のお耳)に御迷惑をおかけします。



卓話「水と衛生の月間にちなんで」

山本武夫会員(富山むし歯予防フッ素推進市民ネットワーク：And You(あゆ)の会)

山本武夫会員：(むし歯予防パンフレット配布：スライドを使って卓話) …ロータリー、グローバル補助金の重点分野に「水と衛生」があります。本来は、水は病気予防の観点から、きれいな水を供給することが第1義的に大切とされています。しかし、職業柄、水にはもう一つの大事な役目があります。それは「むし歯予防」です。アメリカ、豪州・韓国などの多くの国では「水道水フロリデーション」が実施され、子供だけでなく、成人の歯根面のむし歯予防にも大いに役に立っています。日本では米軍基地を除いては、まだ局所的な応用法しか、実施されておられません。子供たちに有効なフッ化物洗口は、砺波地方では先進的に行われており、県内でも未実施の高岡市などと少しずつ健康格差が見られます。そこに注目して、当クラブの「いい歯のキャンペーン」が拡大して、R財団地区補助金事業・高岡市近郊SRC共同プロジェクト「高岡市歯と口腔の健康づくり保健教育」が今年度実施されました。引き続き、次年度も当クラブが幹事役として、計画されています。皆様の温かいご支援を宜しくお願い致します。

第1893回例会

平成30年3月14日(水) よいとこ井波

*開会点鐘

*ソング：我等の生業



*会長の時間：河合会長「ようやく天気が良くなり、雪解けも進み、職場で体を使いだしました。休んでいたせいで、腰が痛くなったり、朝起きたら、体中が痛くなったりで、徐々に慣らしていかなければと思っています。あと3カ月で70歳、急激に雪が解け、用水の水が溢れ、これから江凌

い、無理しないようにいかねばと考えています。」

*幹事報告(代理:山本副幹事):①3月28日の例会は夜間ではなく、通常通りの昼の例会です。②ノーベル賞受賞者、大村智先生の講演会:4月28日(土)野々市市文化会館フォルテにて、白山・野々市・白山石川RC共催、登録料1000円、参加希望者は事務局まで。③近隣クラブ例会変更は事務局に確認を。

*委員会報告:①出席報告(中島委員長):22名中15名出席。68.18%

*ニコニコBOX(本日:6名)

河合会長:交通広場の駐車料金制度が変わります。回数券があれば買います。

中島会員:孫がとなみミュージカルキッズの所属し、先日文化会館で公演があり。今年はセンターを確保して、頑張っている姿にパワーをもらいました。

畠中会員:結婚祝に感謝。40年目会話の中身がこれから先の老後の話題が多くなってきました。なるべく仲良くしてゆきます。

齋藤美華子会員:春爛漫にて。残り7月までの活動皆様で楽しんでやらせて頂きます。

桧原会員:誕生祝い、有難うございました。

山本武夫会員:2週続きの卓話お詫び。資料作りが間に合わず、あり合わせで、失礼!



***会員卓話「ロータリー財団月間にちなんで」山本武夫会員**

山本会員:(配布資料見ながら)4/4 予定でしたが、変更になりました。宜しくお願い致します。

1.「ロータリー財団について」

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることで

す。非営利組織である当財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付よってのみに支えられています。御寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立っています。

2.「ポリオプラス」:スライド配布資料を説明

1985年にポリオプラス・プログラムを開始して以来、ロータリーはポリオ撲滅を組織の最優先項目としてきました。活動開始時には125カ国、35万件以上の発症が確認されていましたが、世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)におけるパートナー組織との協力を1988年に開始して以来、25億人以上の子どもに予防接種を行い、ポリオプラス・パートナー団体からの寄付を含め、ポリオ撲滅運動に15億ドル以上の資金を投入しています。

3.「ロータリー平和フェローシップ」目的

世界に6つあるロータリー平和センターの1つで、国際関係、平和、紛争解決とその関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決分野の専門能力終了証の取得を目指す学生に、ロータリー平和フェローシップ(奨学金)を提供する

4.ロータリー補助金:人びとによりよい生活をもたらす、地域社会に貢献するロータリアンの活動を支援しています。

①地区補助金:地区補助金は、資金が毎年一括で地区に支払われ、地元や海外の緊要なニーズに取り組むために使用できる補助金です。地区は、使用可能なDDF(地区財団活動資金)の50%までを地区補助金として申請できます。地区が補助金の管理を行い、ロータリー財団の使命を支える地区やクラブの活動(職業研修チーム、奨学金、人道的奉仕プロジェクト、文化交流を含む)に資金を分配します。.....**3年前の年次基金の1/4(25%)を限度とする当初の予定、2018-2019年度は地区に少し余裕ができたため、35%を限度とする**

②グローバル補助金:グローバル補助金は、戦略的な観点から大きな影響をもたらす、地区やクラブの活動に使用できる補助金です。大規模で国際的な自動的プロジェクト、職業研修チーム、奨学金(修士課程または博士課程)のために活用でき、重点分野(後述)のいずれかにおいて、持続可能な成果をもたらすことが求められます。また、複数の活

動を組み合わせることも可能です。グローバル補助金の場合、プロジェクトの予算は最低 30,000 ドルである必要があります。2つのクラブまたは地区が提唱し、活動の実施国にあるクラブ/地区と、実施国外にあるクラブ/地区が提唱者となります。

*重点分野

- i 平和と紛争予防/紛争解決
- ii 疾病予防と治療
- iii 水と衛生
- iv 母子の健康
- v 基本的教育と識字率向上
- vi 経済と地域社会の発展

*「持続可能性」の定義・・・補助金資金が全て使用された後も、地域社会の人びとが自力で地元のニーズを満たしていけるよう、長期的な解決策を提供すること

5. 「ロータリー学友」

ロータリー財団は、長い歴史の中で、奨学金や職業交換など、さまざまなプログラムを通じて 123,000 人以上を支援、このプログラムの元参加者に加え、ロータリーアクト、インターアクト、青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) の元参加者も学友に含まれることになりました。

6. 「財団の資金」

①年次基金(シェア) : 50%が WF(国際財団活動資金)へ、50%が DDF(地区財団活動資金)へ・・・寄付の3年後にその基金をプログラムに使用するシステムを採用している

②恒久基金:ロータリー財団の補助金とプログラムの未永い存続を確実にする

7. 財団での認証

①個人の認証

・「財団の友」会員 : 年次基金に毎年 100 ドル以上を寄付する方

・ポール・ハリス・フェロー : 年次基金・ポリオプラス基金・財団が承認したグローバル基金へ、累積 1000 ドル以上の寄付した個人・・・認定状と襟ピン

・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー : 1000 ドルごとに襟ピン

・ポール・ハリス・ソサエティ : 上記寄付を毎年 1000 ドル

以上寄付する方 (個人)

・メジャー・ドナー : 累積の寄付が 10000 ドルに達した個人または夫妻

・アーチ・クラフ・ソサエティ : 250,000 以上の寄付者

・ベネファクター : 資産計画にロータリー財団を受益者として指定、または恒久基金に 1000 ドル以上寄付

・遺贈友の会 : 資産計画において合計 10000 ドル以上を誓約した個人

②クラブの認証

・100%ロータリー財団寄付クラブ : 一人平均 100 ドル以上寄付したクラブ

・100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ : クラブの全ての会員がポール・ハリス・フェロー

(特に) 当クラブの地区補助金について、平成 30 年 1 月現在、寄付実績 110,736.24 ドル (会員数 20 名 : 平成 29 年 7 月現在) 未寄付者 0 名

マルチプルフェロー ; 8 名

ポールハリスフェロー ; 5 名

・2015-2016 年度年次基金 2,000 ドル (110 円/\$)

・2018-2019 年度地区補助金申請限度 77000 円

・2017-2018 年度年次基金 2,310 ドル



今回の卓話は、「ロータリーの友」やネットで調べるとすぐにわかることでもあり、また、入会年数の長い会員にとっては、当たり前なことでもあったのですが、比較的に入会年数の浅い会員にとっては、言葉を覚えるだけでもロータリーや財団の事を知ってもらえると、準備しました。宜しくお願いします。

(会報担当) 長田正勝(写真)、山本武夫 (HP)

2 回の卓話の資料が多く、会報を短くの外れました。御容赦下さい。